



大和中タイムス

第3号
令和8年(2026年)
6月30日
発行

がん教育の講話を聞いて

6月23日(火)2年生対象にがん教育の講話がありました。緩和ケアボランティアの榊野統胤(ますのとういん)さんを講師にお迎えし、がんについて学ぶことを通じて、自分の命の重みとともに、家族や友達の命の大切さを考えました。各ご家庭でも話題にしてみてください。なお、生徒や教職員、地域の方々の様子を、ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

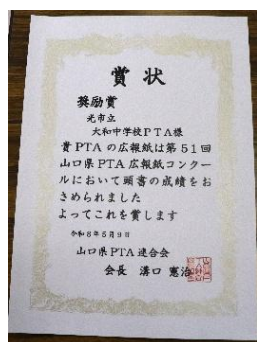
「大和中中学校ホームページ二次元コード」→



・今日の授業を受けて、私は生活を見直そうと思いました。最近家に帰ると寝てしまい、遅くに起きて宿題などをして、遅くに寝るということをくり返してしまっています。でも、今日の話を聞いて、がんのリスクが高くなっていたらこわいので、これから気をつけていきたいです。

・がんは、誰にでもかかる可能性があるから、自分事として考えるようにしたいです。がんのつらさについてわかったから、検診が受けられるようになったら受けて、身近な人にも検診を進めたいと思いました。良い生活習慣を身に付け、少しでもかかりにくくなるようにしていきたいです。

- ・がんは2人に1人がかかる病気で、防ぐことが難しいので、これからは生活習慣やバランスのよい食事を心がけようと思いました。また、家に帰ったら、がん予防のために、たばこやお酒はよくないことを、家族に話そうと思います。
- ・がん教育の講話を聞いてわかったことは、まず、2人に1人ががんになってしまい、すの中の3人に1人が命を落とすなど、かなり身近にあるということがわかりました。だから、普段からの生活習慣や食生活に加え、ストレスのためすぎにも気をつけないといけないと思いました。今は直接的な関係は少ないですが、将来のために知っておいたり、親に伝えたりしておきたいです。
- ・帰ってから家族に、「今日こんなことあったよ。」とか「がん検診行った？」など、お互いに確認しながらがんを予防していきたいです。がんに少しでもならないように、正しい生活習慣を身に付けたり、バランスのよい食事をとったり、たばこを吸わない、あまりお酒を飲まないなど気をつけて、自分で予防していきたいです。



PTA広報誌コンクール

令和7年度PTA役員広報部のみなさんが作成された、大和中広報誌「ふれあい」を、山口県PTA連合会が主催する「広報誌コンクール」に応募しました。奨励賞を受賞し、この度学校に賞状が届きましたのでご紹介します。おめでとうございます。

小中合同PTA親睦行事

6月20日(土)に、小中合同PTA親睦行事を行いました。たくさんの保護者、教職員が集まり、楽しくソフトバレーボールを行い、親睦を深めることができました。ご参加くださった保護者のみなさん、ありがとうございました。

